

**令和4年度**

# 入所施設における新型コロナウイルス 感染症に関する調査報告

入所施設における新型コロナウイルス  
感染症に関する調査報告

公益財団法人日本知的障害者福祉協会  
調査・研究委員会

# I 調査経過

日本における新型コロナウイルス感染症の脅威は令和2年に始まり、国民生活に多大な影響を与えてきた。日本の知的障害福祉もその例外ではなく、この数年の全国実態調査結果においても、新型コロナウイルスの影響が色濃く表れた事業等が見られたところである。

とりわけ、入所施設（障害者支援施設・障害児入所施設）においては、ひとたび感染が発生してしまうと館内で拡大して集団感染に至る危険が高く、施設利用者・職員の方々は感染対策・感染後の対応に大いに苦慮されてきたと思われる。実際に、コロナ禍2年目となった令和3年度は、いわゆる変異株による波が複数回襲来し、全国で入所施設の集団感染が報告された。

そこで、令和3年度の入所施設における感染状況や対応の状況等を把握し、そこから見える傾向や直面している固有の課題等を見出す基礎資料を収集するため、本調査を実施した。

例年の全国実態調査に加えての本調査となり、いまだコロナ禍の中という大変な時期にご協力いただいた会員の皆様には深く感謝をしている。少しずつ明るい兆しも見えてきた時期ではあるが、本調査から得たデータは、次年度以降収束に至るまでの経年比較や今後の参考として、また、他の事業種別や一般国民、諸外国との比較等にも活用しうると考える。今後も引き続き、会員の皆様にはご理解とご協力をお願いしたい。

調査・研究委員会 委員長 梶 浦 英 与

## Ⅱ 調査結果

※令和3年4月1日～令和4年3月31日までの状況に関する調査結果

表1 送付数と回収数 (施設数)

	送付数	提出数	回収率
障害者支援施設	1,620	1,128	69.6%
障害児入所施設	229	137	59.8%
計	1,849	1,265	68.4%

表1は、調査票の送付数と提出数を示したものである。

本調査は、会員である障害者支援施設及び障害児入所施設1,849か所に調査票を送付し、1,265か所から回答をいただくことができた。回収率は68.4%であった。

回収率の内訳は、障害者支援施設が69.6%、障害児入所施設が59.8%であった。

表2 居住棟の形態 (施設数)

	障害者支援施設	障害児入所施設	合計
大舎	647	66	713
	57.4%	48.2%	56.4%
ユニット	232	49	281
	20.6%	35.8%	22.2%
その他	61	6	67
	5.4%	4.4%	5.3%
大舎+ユニット	7	1	8
	0.6%	0.7%	0.6%
無回答	181	15	196
	16.0%	10.9%	15.5%
計	1,128	137	1,265
	100%	100%	100%

表2は、居住棟の形態（重複計上）を示したものである。

全体では、大舎であると回答したのは56.4%（713か所）、ユニットに分かれていると回答したのは22.2%（281か所）、大舎かつユニットがあると回答したのは0.6%（8か所）であった。障害者支援施設、障害児入所施設のいずれも、大舎、ユニット、その他、大舎+ユニットの順であった。

表3 居室の形態（個室の割合）

	障害者支援施設				障害児入所施設				合計			
	施設数	総定員 (夜間)	個室数	定員に 対する 個室割合	施設数	総定員 (夜間)	個室数	定員に 対する 個室割合	施設数	総定員 (夜間)	個室数	定員に 対する 個室割合
大舎	484	34,892	10,372	29.7%	44	2,063	415	20.1%	528	36,955	10,787	29.2%
ユニット	204	12,612	8,095	64.2%	40	1,670	814	48.7%	244	14,282	8,909	62.4%
その他	48	3,329	1,304	39.2%	3	160	47	29.4%	51	3,489	1,351	38.7%
大舎+ユニット	7	548	359	65.5%	1	100	49	49.0%	8	648	408	63.0%
無回答	107	9,771	2,521	25.8%	8	502	77	15.3%	115	10,273	2,598	25.3%
事業所実数	1,128	61,152	22,292	36.5%	137	4,495	1,353	30.1%	1,265	65,647	23,645	36.0%

表3は、居室の形態（個室の割合）を示したものである。

全体では、定員に対する個室の割合は36.0%で、障害者支援施設、障害児入所施設のいずれも、大舎のみである施設より、ユニットのみである施設や大舎かつユニットがある施設の方が個室割合は30ポイント近く高かった。なお、全国実態調査における「入所型施設の居室の状況」の数値との差が見られたが、全国実態調査では「居室の利用状況」を問うており、その違いによるものと思われる。

表4 在籍者の状況

(人数)

		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
障害者支援施設	男性	300	2,583	4,774	9,082	9,300	5,463	2,902	700	35,104
	女性	138	1,148	2,245	4,650	5,848	5,088	3,287	940	23,344
	計	438	3,731	7,019	13,732	15,148	10,551	6,189	1,640	58,448
障害児入所施設	男性	2,159	42	29	37	26	25	12	2	2,332
	女性	1,030	25	23	21	23	20	11	3	1,156
	計	3,189	67	52	58	49	45	23	5	3,488
計	男性	2,459	2,625	4,803	9,119	9,326	5,488	2,914	702	37,436
	女性	1,168	1,173	2,268	4,671	5,871	5,108	3,298	943	24,500
	合計	3,627	3,798	7,071	13,790	15,197	10,596	6,212	1,645	61,936

表4は、在籍者の状況（性別・年齢構成）を示したものである。

全体では、最も多い年齢階層は50代で、次いで40代、60代、30代の順であった。男女差は、男性が60.4%を占め、年齢階層別の男女の構成比も例年の全国実態調査結果と同様の特徴が見られた。

障害児入所施設では、本来の対象が属する20歳未満の年齢階層が最も多い一方で、60代以上も2.1%（73人）在籍していた。

表5-1 新型コロナウイルス感染者の状況 ※複数回感染した場合には各々計上

(人数)

		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	
障害者 支援 施設	男性	感染者(男)	18	245	557	1,214	1,157	547	249	47	4,034
		死亡			1		1	4	5		11
		重症				7	6	4	1	1	19
		中等症Ⅰ,Ⅱ		9	36	87	95	69	42	7	345
		軽症	18	236	520	1,120	1,055	470	201	39	3,659
	女性	感染者(女)	7	94	231	554	666	421	252	62	2,287
		死亡		1	1	6	16	3	3	2	32
		重症				2	2	3	5	1	13
		中等症Ⅰ,Ⅱ		1	5	32	43	51	28	6	166
		軽症	7	92	225	514	605	364	216	53	2,076
	計	感染者(計)	25	339	788	1,768	1,823	968	501	109	6,321
		死亡		1	2	6	17	7	8	2	43
		重症				9	8	7	6	2	32
		中等症Ⅰ,Ⅱ		10	41	119	138	120	70	13	511
		軽症	25	328	745	1,634	1,660	834	417	92	5,735
障害 児 入 所 施設	男性	感染者(男)	357	11	13	15	5	1		1	403
		死亡									
		重症	1								1
		中等症Ⅰ,Ⅱ				1				1	2
		軽症	356	11	13	14	5	1			400
	女性	感染者(女)	152	7	5	2	1	2			169
		死亡									
		重症									
		中等症Ⅰ,Ⅱ						1			1
		軽症	152	7	5	2	1	1			168
	計	感染者(計)	509	18	18	17	6	3		1	572
		死亡									
		重症	1								1
		中等症Ⅰ,Ⅱ				1		1		1	3
		軽症	508	18	18	16	6	2			568

表5-1は、感染者の状況（複数回感染は各々計上）を示したものである。

なお、今回の調査対象期間（令和3年度）は、いわゆる従来株とは異なる変異株に置き換わり、第4波、第5波、第6波が襲来した時期である。

障害者支援施設では、延6,321人が感染し、男性が63.8%（延4,034人）、女性が36.2%（延2,287人）であった。年齢階層別で見ると、50代、40代、60代、30代の順で、在籍者数の状況と同様だった。感染者の症状を見ると、約9割が軽症（延5,735人）だったが、重症に至った方が延32人、死亡した方が43人いた。

障害児入所施設では、延572人が感染し、男性が70.5%（延403人）、女性が29.5%（延169人）であった。感染者の症状を見ると、ほとんどが軽症（延568人）だったが、重症に至った方が1人いた。死亡はいなかった。

表5-2 新型コロナウイルスの年代別感染率

施設種別	性別	区分	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	
障害者支援施設	男性	在籍者数	300	2,583	4,774	9,082	9,300	5,463	2,902	700	35,104	
		感染者数	18	245	557	1,214	1,157	547	249	47	4,034	
		感染率	6.00%	9.49%	11.67%	13.37%	12.44%	10.01%	8.58%	6.71%	11.49%	
	女性	在籍者数	138	1,148	2,245	4,650	5,848	5,088	3,287	3,287	940	23,344
		感染者数	7	94	231	554	666	421	252	62	2,287	
		感染率	5.07%	8.19%	10.29%	11.91%	11.39%	8.27%	7.67%	6.60%	9.80%	
	計	在籍者数	438	3,731	7,019	13,732	15,148	10,551	6,189	1,640	58,448	
		感染者数	25	339	788	1,768	1,823	968	501	109	6,321	
		感染率	5.71%	9.09%	11.23%	12.88%	12.03%	9.17%	8.10%	6.65%	10.81%	
障害児入所施設	男性	在籍者数	2,159	42	29	37	26	25	12	2	2,332	
		感染者数	357	11	13	15	5	1		1	403	
		感染率	16.54%	26.19%	44.83%	40.54%	19.23%	4.00%		50.00%	17.28%	
	女性	在籍者数	1,030	25	23	21	23	20	11	3	1,156	
		感染者数	152	7	5	2	1	2			169	
		感染率	14.76%	28.00%	21.74%	9.52%	4.35%	10.00%			14.62%	
	計	在籍者数	3,189	67	52	58	49	45	23	5	3,488	
		感染者数	509	18	18	17	6	3		1	572	
		感染率	15.96%	26.87%	34.62%	29.31%	12.24%	6.67%		20.00%	16.40%	
計	男性	在籍者数	2,459	2,625	4,803	9,119	9,326	5,488	2,914	702	37,436	
		感染者数	375	256	570	1,229	1,162	548	249	48	4,437	
		感染率	15.25%	9.75%	11.87%	13.48%	12.46%	9.99%	8.54%	6.84%	11.85%	
	女性	在籍者数	1,168	1,173	2,268	4,671	5,871	5,108	3,298	943	24,500	
		感染者数	159	101	236	556	667	423	252	62	2,456	
		感染率	13.61%	8.61%	10.41%	11.90%	11.36%	8.28%	7.64%	6.57%	10.02%	
	計	在籍者数	3,627	3,798	7,071	13,790	15,197	10,596	6,212	1,645	61,936	
		感染者数	534	357	806	1,785	1,829	971	501	110	6,893	
		感染率	14.72%	9.40%	11.40%	12.94%	12.04%	9.16%	8.07%	6.69%	11.13%	

※感染率 = 延感染者数 ÷ 在籍者数

表5-2は、感染率（延感染者数を在籍者数で割ったもの）を示したものである。

全体では11.13%で、障害者支援施設では10.81%、障害児入所施設では16.40%であった。

年齢階層別に見ると、全体では20代未満（14.72%）が最も高く、次いで40代（12.94%）、50代（12.04%）、30代（11.40%）の順であった。60代以上の年齢階層では感染率が全体の平均より低く、かつ階層が上がるほど低値となっており、施設内で高齢利用者への感染を防ぐ対策がとられていたと推察される。

表5-3 新型コロナウイルス感染者における年代別重症化率・死亡率

施設種別	性別	区分	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
障害者支援施設	男性	感染者数	18	245	557	1,214	1,157	547	249	47	4,034
		重症者数				7	6	4	1	1	19
		死亡者数			1		1	4	5		11
		重症化率			0.18%	0.58%	0.61%	1.46%	2.41%	2.13%	0.74%
		死亡率			0.18%		0.09%	0.73%	2.01%		0.27%
	女性	感染者数	7	94	231	554	666	421	252	62	2,287
		重症者数				2	2	3	5	1	13
		死亡者数		1	1	6	16	3	3	2	32
		重症化率		1.06%	0.43%	1.44%	2.70%	1.43%	3.17%	4.84%	1.97%
		死亡率		1.06%	0.43%	1.08%	2.40%	0.71%	1.19%	3.23%	1.40%
	計	感染者数	25	339	788	1,768	1,823	968	501	109	6,321
		重症者数				9	8	7	6	2	32
		死亡者数		1	2	6	17	7	8	2	43
		重症化率		0.29%	0.25%	0.85%	1.37%	1.45%	2.79%	3.67%	1.19%
死亡率			0.29%	0.25%	0.34%	0.93%	0.72%	1.60%	1.83%	0.68%	
障害児入所施設	男性	感染者数	357	11	13	15	5	1		1	403
		重症者数	1								1
		死亡者数									
		重症化率	0.28%								0.25%
		死亡率									
	女性	感染者数	152	7	5	2	1	2			169
		重症者数									
		死亡者数									
		重症化率									
		死亡率									
	計	感染者数	509	18	18	17	6	3		1	572
		重症者数	1								1
		死亡者数									
		重症化率	0.20%								0.17%
死亡率											
計	男性	感染者数	375	256	570	1,229	1,162	548	249	48	4,437
		重症者数	1			7	6	4	1	1	20
		死亡者数			1		1	4	5		11
		重症化率	0.27%		0.18%	0.57%	0.60%	1.46%	2.41%	2.08%	0.70%
		死亡率			0.18%		0.09%	0.73%	2.01%		0.25%
	女性	感染者数	159	101	236	556	667	423	252	62	2,456
		重症者数				2	2	3	5	1	13
		死亡者数		1	1	6	16	3	3	2	32
		重症化率		0.99%	0.42%	1.44%	2.70%	1.42%	3.17%	4.84%	1.83%
		死亡率		0.99%	0.42%	1.08%	2.40%	0.71%	1.19%	3.23%	1.30%
	計	感染者数	534	357	806	1,785	1,829	971	501	110	6,893
		重症者数	1			9	8	7	6	2	33
		死亡者数		1	2	6	17	7	8	2	43
		重症化率	0.19%	0.28%	0.25%	0.84%	1.37%	1.44%	2.79%	3.64%	1.10%
死亡率			0.28%	0.25%	0.34%	0.93%	0.72%	1.60%	1.82%	0.62%	

※重症化率 = (死亡者数 + 重症者数) ÷ 延感染者数

表5-3は、重症化率（重症と死亡を合わせた数を延感染者数で割ったもの）と死亡率を示したものである。

重症化率は、全体では1.10%で、障害者支援施設では1.19%、障害児入所施設では0.17%であった。

死亡率は、全体では0.62%で、障害者支援施設では0.68%、障害児入所施設では0%であった。

年齢階層別に見ると、感染者が最も多かった50代が0.93%で最も高く、また、60代以上の高齢層では階層が上がるほど高くなっていった。

いずれの施設種別でも軽症者が多かったが、諸外国や一般国民の感染者数重症度分類による割合との比較等については、さらなる追跡調査が必要である。

表6-1 居住棟の形態と新型コロナウイルス感染率

(施設数)

		大舎	ユニット	その他	大舎+ ユニット	居住棟 無回答	合計
感 染 率	0% または不明	511	198	54	3	143	909
	0%超	69	36	6	3	19	133
	20%未満	34.2%	43.4%	46.2%	60.0%	35.8%	37.4%
	20%以上 40%未満	32	20	3		8	63
		15.8%	24.1%	23.1%		15.1%	17.7%
	40%以上 60%未満	48	12	2	1	9	72
		23.8%	14.5%	15.4%	20.0%	17.0%	20.2%
	60%以上 80%未満	19	10		1	4	34
		9.4%	12.0%		20.0%	7.5%	9.6%
	80%以上 100%未満	28	2	2		8	40
	13.9%	2.4%	15.4%		15.1%	11.2%	
100%	4	2			4	10	
	2.0%	2.4%			7.5%	2.8%	
100%超	2	1			1	4	
	1.0%	1.2%			1.9%	1.1%	
合計	202	83	13	5	53	356	
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

※合計は感染率の「0%または不明」を除いて算出

表6-1は、施設の居住棟の形態と感染率との比較を示したものである。

館内で感染が発生してしまった施設（感染率が0%超以上）のうち感染率40%未満に抑えることができた施設の割合を見ると、大舎のみである施設に比して、ユニットに分かれている施設、または大舎かつユニットがある施設の方が10~20ポイント近く高かった。ユニット単位でゾーン分けを行う等の措置により、感染拡大を防げたことが推察される。

表6-2 施設の個室率と新型コロナウイルス感染率

(施設数)

		施設の個室率								合計
		0%	0%超 20%未満	20%以上 40%未満	40%以上 60%未満	60%以上 80%未満	80%以上 100%未満	100%	100%超	
感 染 率	0% または不明	253	155	141	82	53	51	107	67	909
	0%超 20%未満	37 33.9%	22 33.3%	15 26.3%	16 53.3%	6 35.3%	5 38.5%	16 53.3%	16 47.1%	133 37.4%
	20%以上 40%未満	19 17.4%	8 12.1%	14 24.6%	5 16.7%	3 17.6%	3 23.1%	6 20.0%	5 14.7%	63 17.7%
	40%以上 60%未満	17 15.6%	17 25.8%	11 19.3%	5 16.7%	5 29.4%	2 15.4%	6 20.0%	9 26.5%	72 20.2%
	60%以上 80%未満	13 11.9%	5 7.6%	9 15.8%	2 6.7%		3 23.1%	1 3.3%	1 2.9%	34 9.6%
	80%以上 100%未満	15 13.8%	11 16.7%	5 8.8%	2 6.7%	3 17.6%		1 3.3%	3 8.8%	40 11.2%
	100%	5 4.6%	2 3.0%	3 5.3%						10 2.8%
	100%超	3 2.8%	1 1.5%							4 1.1%
	合計	109 100%	66 100%	57 100%	30 100%	17 100%	13 100%	30 100%	34 100%	356 100%

※合計は感染率の「0%または不明」を除いて算出

表6-2は、施設の個室率と感染率との比較を示したものである。

館内で感染が発生してしまった施設（感染率が0%超以上）のうち感染率40%未満に抑えることができた施設の割合を見ると、個室率が40%未満の施設に比して、個室率が100%以上の施設の方が20ポイント近く高かった。個室の存在が、感染発生後の隔離等の措置を可能とし一定の効果を果たしたことが推察される。また、個室率が40%未満の施設では、感染率が100%以上に至ってしまった施設が見られた。

表6-3 居住棟の形態と施設の個室率

(施設数)

		施設の個室率								合計
		0%	0%超 20%未満	20%以上 40%未満	40%以上 60%未満	60%以上 80%未満	80%以上 100%未満	100%	100%超	
居 住 棟 の 形 態	大舎	199 27.91%	169 23.70%	131 18.37%	70 9.82%	35 4.91%	30 4.21%	47 6.59%	32 4.49%	713 100%
	ユニット	58 20.64%	14 4.98%	25 8.90%	19 6.76%	24 8.54%	22 7.83%	65 23.13%	54 19.22%	281 100%
	その他	18 26.87%	9 13.43%	10 14.93%	10 14.93%	5 7.46%	6 8.96%	4 5.97%	5 7.46%	67 100%
	大舎+ ユニット		1 12.50%	2 25.00%	1 12.50%	1 12.50%	1 12.50%	1 12.50%	1 12.50%	8 100%
	居住棟 無回答	87 44.39%	28 14.29%	30 15.31%	12 6.12%	5 2.55%	5 2.55%	20 10.20%	9 4.59%	196 100%
	合計	362 28.62%	221 17.47%	198 15.65%	112 8.85%	70 5.53%	64 5.06%	137 10.83%	101 7.98%	1,265 100%

表6-4 大舎かつ個室率20%未満の施設の感染率

(施設数)

大舎のみの施設		個室率		
		0%	0%超 20%未満	合計
感 染 率	0% または不明	140	120	260
	0%超 20%未満	19 32.20%	15 30.61%	34 31.48%
	20%以上 40%未満	10 16.95%	7 14.29%	17 15.74%
	40%以上 60%未満	13 22.03%	12 24.49%	25 23.15%
	60%以上 80%未満	5 8.47%	3 6.12%	8 7.41%
	80%以上 100%未満	9 15.25%	10 20.41%	19 17.59%
	100%	1 1.69%	2 4.08%	3 2.78%
	100%超	2 3.39%		2 1.85%
	合計	59 100%	49 100%	108 100%

※合計は感染率の「0%または不明」を除いて算出

表6-5 ユニットかつ個室率100%以上の施設の感染率

(施設数)

ユニットのみの施設		個室率		
		100%	100%超	合計
感 染 率	0% または不明	53	36	89
	0%超 20%未満	9 75.00%	13 72.22%	22 73.33%
	20%以上 40%未満	1 8.33%	1 5.56%	2 6.67%
	40%以上 60%未満	1 8.33%	4 22.22%	5 16.67%
	60%以上 80%未満			
	80%以上 100%未満	1 8.33%		1 3.33%
	100%			
	100%超			
	合計	12 100%	18 100%	30 100%

※合計は感染率の「0%または不明」を除いて算出

表6-3～表6-5は、さらに、施設の居住棟の形態と施設の個室率とを掛け合わせて集計したうえで、大舎でありかつ個室率20%未満の施設の感染率と、ユニットがありかつ個室率100%以上の施設の感染率を示したものである。

表6-4と表6-5を比較すると、館内で感染が発生してしまったが感染率を40%未満に抑えることができた施設の割合は、ユニットかつ個室率100%以上の施設の方が大舎かつ個室率20%未満の施設に比して30ポイント以上高く、感染率20%未満に限るとその割合差は40ポイント以上となり、より顕著であった。

表7 年代別新型コロナウイルス入院率

施設種別	性別	区分	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
障害者支援施設	男性	感染者数	18	245	557	1,214	1,157	547	249	47	4,034
		入院数	1	21	44	83	103	75	56	8	391
		入院率	5.56%	8.57%	7.90%	6.84%	8.90%	13.71%	22.49%	17.02%	9.69%
	女性	感染者数	7	94	231	554	666	421	252	62	2,287
		入院数	1	9	19	37	59	49	29	14	217
		入院率	14.29%	9.57%	8.23%	6.68%	8.86%	11.64%	11.51%	22.58%	9.49%
	計	感染者数	25	339	788	1,768	1,823	968	501	109	6,321
		入院数	2	30	63	120	162	124	85	22	608
		入院率	8.00%	8.85%	7.99%	6.79%	8.89%	12.81%	16.97%	20.18%	9.62%
障害児入所施設	男性	感染者数	357	11	13	15	5	1		1	403
		入院数	41		1	2				1	45
		入院率	11.48%		7.69%	13.33%				100%	11.17%
	女性	感染者数	152	7	5	2	1	2			169
		入院数	8				1				9
		入院率	5.26%				100%				5.33%
	計	感染者数	509	18	18	17	6	3		1	572
		入院数	49		1	2	1			1	54
		入院率	9.63%		5.56%	11.76%	16.67%			100%	9.44%
計	男性	感染者数	375	256	570	1,229	1,162	548	249	48	4,437
		入院数	42	21	45	85	103	75	56	9	436
		入院率	11.20%	8.20%	7.89%	6.92%	8.86%	13.69%	22.49%	18.75%	9.83%
	女性	感染者数	159	101	236	556	667	423	252	62	2,456
		入院数	9	9	19	37	60	49	29	14	226
		入院率	5.66%	8.91%	8.05%	6.65%	9.00%	11.58%	11.51%	22.58%	9.20%
	計	感染者数	534	357	806	1,785	1,829	971	501	110	6,893
		入院数	51	30	64	122	163	124	85	23	662
		入院率	9.55%	8.40%	7.94%	6.83%	8.91%	12.77%	16.97%	20.91%	9.60%

※入院率＝延入院者数÷延感染者数

表7は、感染者の入院率（延入院者数を延感染者数で割ったもの。複数回入院は各々計上）を示したものである。

入院者数は延662人で、入院率は全体では9.60%であった。障害者支援施設では9.62%、障害児入所施設では9.44%だった。

年齢階層別に見ると、全体では80代以上（20.91%）が最も高く、次いで70代（16.97%）、60代（12.77%）の順であり、高齢の感染者ほど入院に至った状況が見てとれる。

表8-1 入院した利用者の入院日数（最短期間・最長日数）（日数）

	最短期間	最長日数
障害者支援施設	1	355
障害児入所施設	3	48

表8-2 入院した利用者の入院日数（平均日数）（施設数）

		障害者支援施設		障害児入所施設	
平均日数	1～9日	33	28.7%	3	50.0%
	10～19日	53	46.1%	2	33.3%
	20～29日	13	11.3%	1	16.7%
	30～49日	12	10.4%		
	50～99日	1	0.9%		
	100日以上	3	2.6%		
	合計	115	100%	6	100%

表8-1と表8-2は、入院した利用者の入院日数を示したものである。

回答があった施設それぞれの平均日数を算出すると、障害者支援施設の7割以上（86か所）、障害児入所施設の8割以上（5か所）が20日に満たない日数となった一方で、障害者支援施設では最長で355日入院した方がいるなど、平均日数が100日以上となった施設が3か所あった。

表9 入院を要請したにもかかわらず入院できなかった利用者の有無とその人数（施設数）

	なし	あり	あり		無回答	計
			人数	うち後日入院できた人数		
障害者支援施設	399	52	194	53	677	1,128
障害児入所施設	55	3	6	1	79	137
計	454 35.9%	55 4.3%	200 -	54 -	756 59.8%	1,265 100%

表9は、入院できなかった利用者の状況を示したものである。

約6割の施設が無回答であったが、少なくとも55施設で延200人が「入院を要請したにもかかわらず入院できなかった」と回答しており、うち後日入院できた人は54人で27.0%にとどまっている。

表10 感染した利用者の子後

(人数)

	軽快	後遺症あり	死亡	計
障害者支援施設	5,563	54	24	5,641
障害児入所施設	499	1	0	500
計	6,062 98.7%	55 0.9%	24 0.4%	6,141 100%

表10は、感染した利用者の子後を示したものである。

表5-1と表5-2における回答との不整合が見られたが、回答いただいた施設利用者の多くが軽快となった(98.7%, 6,062人)一方で、何らかの後遺症が生じた方や死亡した方が見られた。

表11 複数感染(2人以上)の状況

(左:施設数 右:人数)

		1回目		2回目		3回目		4回目	
障害者支援施設	施設入所者のみ	196	4,677	31	256	10	59	6	48
	職員のみ	217	2,139	30	124	11	29	6	12
	職員と入所者	257	7,553	39	495	11	87	6	76
	計	670	14,369	100	875	32	175	18	136
障害児入所施設	施設入所児のみ	44	399	7	38	2	7	1	2
	職員のみ	34	193	7	17	2	3	1	1
	職員と入所者	45	648	10	58	3	14	1	3
	計	123	1,240	24	113	7	24	3	6

表11は、複数感染(2人以上)の状況を示すものである。

調査対象期間においては入所施設で多くの複数感染が発生したことから、その状況を問うものだったが、回答に不整合が見られた。設問を精査し、次年度以降において改めて明らかにしていきたい。

# 別添

## 入所施設における新型コロナウイルス感染症に関する調査

日本知的障害者福祉協会 調査・研究委員会

2020年からは新型コロナウイルス感染症のパンデミックの脅威にさらされました。こうした中、入所施設（障害者支援施設・障害児入所施設）における知的障害のある方の感染状況や感染時の事業所の状況等を把握し、現状で対応可能なのか、日頃気づかない隠れた問題や感染拡大時における入所施設に固有の課題等を見出すための基礎資料を収集すべく、本調査を実施します。ご協力の程よろしく願います。

■調査対象施設：当協会会員である障害者支援施設（1,620施設）及び障害児入所施設（229施設）

■調査基準日：令和4年6月1日      ■調査対象期間：令和3年度（2021.4.1～2022.3.31）

■調査締め切り：令和4年11月30日

事業所名				TEL			
都道府県		事業種別		□障害者支援施設		□障害児入所施設	
居住棟の形態		□大舎 □ユニット □その他		居室形態		□個室（ ）室 □多床室（ ）室	
定員	昼	名		現在員	昼	名 男（ ）名 女（ ）名	
	夜	名			夜	名 男（ ）名 女（ ）名	

### 1. 在籍者（入所児・者）の状況（令和4年6月1日現在） (人)

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男									
女									
計									

### 2. 新型コロナウイルス感染者の状況

#### (1) 施設入所児・者の感染状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

※新型コロナウイルス感染症の「重症」「中等症Ⅰ・Ⅱ」「軽症」の分類については、裏面の「新型コロナウイルス感染症重症度分類表」を参照のこと。分類表における「酸素飽和濃度」については、把握している範囲で「最も状態が悪い時」を基準に分類のこと。

※1人が複数回感染した場合には重複計上（延数）で回答のこと。 (延人)

新型コロナウイルス感染者の重症度	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男	感染者(男)								
	死亡								
	重症								
	中等症Ⅰ・Ⅱ								
	軽症								
女	感染者(女)								
	死亡								
	重症								
	中等症Ⅰ・Ⅱ								
	軽症								
感染者(男女)計									

※裏面へ続く

●新型コロナウイルス感染症 重症度分類表

重症度	酸素飽和濃度	臨床状態
軽 症	SpO <sub>2</sub> ≧ 96%	呼吸器症状なし・咳のみで息切れなし
中等症Ⅰ（呼吸不全なし）	93% < SpO <sub>2</sub> < 96%	息切れ、肺炎所見
中等症Ⅱ（呼吸不全あり）	SpO <sub>2</sub> ≦ 93%	酸素投与が必要
重 症		ICU に入室 or 人工呼吸器が必要

※厚生労働省「新型コロナウイルス感染症診療の手引き 改訂版」重症度分類 より

(2) 新型コロナウイルス感染症による施設入所児・者の入院の状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

※複数回入院した場合には重複計上(延数)で回答のこと (延人)

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男									
女									
計									

(3) 入院した施設入所児・者の入院日数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	最短入院日数	最長入院日数	平均入院日数
入院日数	日	日	日

(4) 施設が入院を要請したにもかかわらず入院できなかった施設入所児・者の有無（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

※すぐに入院できずに後日入院した場合には、「あり」に計上したうえで「後日入院」に再計上のこと

- あり ( ) 人 → うち後日入院 ( ) 人  
 なし

(5) 感染した施設入所児・者の予後（令和3年4月1日～令和4年3月31日の感染者の予後について回答のこと）

※後遺症についてはわかる範囲で回答のこと

	軽 快	後遺症あり	死 亡
感染の予後	人	人	人

(6) 複数感染（2人以上）の発生状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	1回目	2回目	3回目	4回目	合計人数
施設入所児・者のみ	人	人	人	人	人
職員のみ	人	人	人	人	人
職員と入所児・者の合計	人	人	人	人	人

☆恐れ入りますが全国調査 A 票の調査票 1 ページ右下の番号を転記してください。→

施設コード	
-------	--

ご協力ありがとうございました。